



医療法人達磨会 井上病院
院長

森 雅信さん

M O R I M A S A N O B U

岡山市出身の64歳。岐阜大医学部を卒業後、岡山大第一外科（現消化器外科）へ。岡山市民病院消化器外科部長を経て、2008年から井上病院副院長。21年10月に院長に就任した。専門は肝胆膵（すい）外科。趣味はゴルフと料理で「魚が好きです」。

福山市東深津町3-23-46
TEL.084-943-5000

顔

ワクチン接種の
最前線に立つ

一三年間副院長を務め、昨年10月に院長に就任した。「副院長の頃とそれほど変わったわけではない」と話し、「井上（文之）理事長を支えながらやっていく」と意気込む。

岡山市出身。父親は同市内で開業する外科医だった。「親の姿を見て、自然と『医者になりたい』と思うようになった」と振り返る。大学卒業後は岡山へ戻り、同市民病院などを経て2008年、副院長として井上病院に赴任した。

井上病院は一年前から、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に積極的に取り組んでいる。多い時には一日六五〇人が接種に訪れたこともあり、森院長も接種の最前線

昨年院長に就任
理事長支えつつ
「患者第一」貫く

に立った。「早く終息してほしい気持ちは皆さんと同じですが、（コロナ慣れで）気持ちが緩むのが心配。感染防止対策の原則を守ることが大事」と呼び掛ける。

外科医には「鮮やかなメスさばきで難手術を成功させる」というイメージがある。

「外科医の側も『切って治したい』という気持ち強いが、現在の医療はエビデンス（証拠）重視。患者のQOL（生活の質）を考えた治療が必要とされる」と強調する。「私自身、昔よりも患者の気持ちが分かるようになった」

患者第一の姿勢を貫く森院長。「理事長は病院の経営も見なければいけない。私が院長を任されたのは、『患者さんに（現場で）きちんと対応してくれ』という意味だと受け止めている」